

武藤将胤はよくいる不可能を可能にする者じゃない。

### 道を創る男だ。

武藤だからやれたで終わるのではなく、

彼の切り拓いた道は多くの後輩や仲間が集まり、

通れる大きな選択肢となる。だから、一緒にやっている。

武藤を観ると誰もが信じられなかった未来を信じられる。

寝たきりの、先はある。手足は作る。

これからも走り続けよう盟友。

## 吉藤オリイ

(株式会社オリイ研究所 代表取締役所長)

使命を自覚するとこんなにも強くなれるんだ…。

マサくんとユウコちゃんとは、ライブ行ったり一緒に食事にも行く友人関係でしたが、  
映画で見る私の知らない2人の姿に胸が熱くなりました。

ナレーションの収録では感情を抑えられなくなるシーンもありましたが、  
気持ちを込めて読ませていただきました。

ただのがむしゃらではなく、ひとつひとつコツコツと奇跡を  
自らの手で掴もうとする姿から何かを感じ取ってもらえたらうれしいです。

石原さとみ (俳優)

ALS (筋萎縮性側索硬化症) 発症を知った上で結婚した二人  
トキキュメンタリー



2021年8月、東京パラリンピック開会式。車いすの少女が演じる「片翼の小さな飛行機」の物語で、ド派手な衣装をまとい、ギタリスト布袋寅泰らを乗せたデコトラの運転席に座りパフォーマンスを繰り広げた武藤将胤(むとうまさたね)。全ての人々が自分らしさを表現し、生き続けられる「BORDERLESSな生き方」を世界へ発信した。大学を盛り上げるイベントに明け暮れた学生時代。口癖は「クレージーに行こうぜ!」。社会を明るくするアイデアを形にしたい、その夢を叶えるため大手広告会社に就職。広告プランナーとなり順風満帆の人生が続くと思っていた。妻・木綿子(ゆうこ)と初めて会った日、手の震えが始まっていた。27歳の時、全身の筋肉が徐々に動かせなくなる進行性の難病ALS(筋萎縮性側索硬化症)と診断。「俺の人生は終わるのかー」絶望しかけたその時浮かんだのは、患者たちの未来を明るくするアイデアを形にする事。病気の啓発と、最新テクノロジーを使った活動を開始した。武藤将胤の限界なき挑戦の舞台裏に密着した、ヒューマンドキュメンタリー。



武藤将胤 武藤木綿子 ナレーション:石原さとみ

企画:河野太一 演出・プロデューサー:浦本 勲 プロデューサー:大塚和典 監督:毛利哲也 協力プロデューサー:白倉由紀子 演劇照明 宣伝プロデューサー:泉谷 裕

2023年/カラー/5.1ch/16:9/1時間39分/©テレビ朝日・フレックス

[www.masatane.toeiad.co.jp](http://www.masatane.toeiad.co.jp)



映画HP